

歯科医院様にお届け下さい。

（技工所様も必ずお読みください。）

下記事項は「アクリ：トーン」で作った義歯のトラブル回避の為の注意事項です。
義歯と一緒に歯科医院様にお届けください。

義歯材料の記録のお願い。

現在、熱可塑性の樹脂は弊社をはじめ他社メーカー様より様々な材質、商品名で販売されております。

※ 材質によって、修理やリライニングの方法、使用する材料が異なります。

歯科医院様におきましては後日の修理及びリライニングを円滑に行なうため、使用材料名をカルテ等に記録すること
をお薦めします。

使用材料名 「アクリ：トーン」

注意事項 ※変形及びクラックの原因になる恐れがありますので下記の行為は避けて下さい。

- （1）70℃以上の温水浸漬はしないでください。（※ 日常生活の飲食には差し支えありません）
- （2）スチーム洗浄器による洗浄はしないでください。（但しノズルより4cm以上離せば使用できます）
- （3）自動研磨機の使用は避けてください。（内部温度が70℃以上になる為）
- （4）熱処理（アニーリング）はしないでください。
- （5）咬合調整後カーボン紙の洗浄を含む消毒用アルコールの使用はしないでください。
※白化する場合があります。（但しアルコール濃度60%以上）
- （6）オートクレーブ(121℃/135℃)には入れないでください。
- （7）脱ロウ工程を伴う間接裏装法はしないでください。（※脱ロウ工程および加熱重合工程が70℃以上になる為）

義歯の修理について

・即時重合レジンによる修理はもちろん、床交換法、直接法による裏装法（リライニング法）による修理が
可能です。

※ 但し、上記の“注意事項”を守ってください。

・アーム部が“ゆるい”場合、即時重合レジンをアーム内面に築盛して調整してください。

・弾性が必要なアーム部と床部との移行部が破折した場合、即時重合レジンで修復しても再度破折する場合が
あります。 ※詳しくは裏面をご参照ください。

使用可能な薬品および洗剤

・全ての薬品及び洗剤は使用できます。

≪ キリトリ線 ≪

患者様にお渡し下さい。

（アクリ：トーン）

使用可能な入れ歯洗浄剤

・市販の「入れ歯洗浄剤」

- 【御注意】 ① 70℃以上の熱いお湯に漬けないでください。※日常生活の飲食には差し支えありません。
② 消毒用アルコールの使用はしないでください。

義歯の修理

アーム部の修理

弾性が必要なアーム部と床部との移行部が破折した場合、即時重合レジンで修復しても再度破折する場合があります。この場合は下記の様に、アーム部の再成形を行います。



① 左上4のアームの破折



② 写真のように深く削り取って下さい。



③ WAXパターンを取り抜き取って下さい。



④ ピックアップワックスパターン又は、副模型で「アーム」だけを射出成形してください。

⑤ 旧義歯と新しいアーム部との境目に即時重合レジン「ポリファスト」「イソファスト」で固定修理してください。

※ 脱口ウ工程を伴う修理法は、脱口ウ時に70℃以上になる為できません。

増歯・床部の修理

- ・アクリル床と同じように修理して下さい。
- ・床部の破折はアクリル床と同じ様に即時重合レジンで修理が可能です。
- ・補強線を入れる場合はデンケン・ハイデンタル「補強芯」 をご使用下さい。

リライニング

- ・アクリル床と同じように、各メーカーの指示に従ってリライニングをして下さい。
- ・リライニング材はアクリル系・シリコーン系を問わず使用できますが、軟質系のリライニング材をご使用下さい。

※ 硬質系のリライニング材でのリライニングは床の“たわみ”により硬質系のリライニング材にクラックや割れが発生する場合があります。